



発行：田村勝 / 住所：仙台市宮城野区福田町 1-9-10 / 電話番号：090-2275-3540 / メール：mas.tamura@icloud.com

仙台市議会は3月14日、新年度令和5年度予算が可決・成立しました。一般質問では子育て世代への支援の充実を求めました。また、市役所における不適切な事務処理ミスが続いており、市長に対してはご自身の意識変化をもとめました。今後、このような事が起こらないよう、市長に対しては危機感をもって対応して頂きたいと存じます。

令和5年 第1回定例会 一般質問

- ・ 不適切な事務処理防止への市長の意識変化
- ・ 複数の子がいる、多子世帯への大胆な支援
- ・ 歩道における根上がりの改善と対策
- ・ 新型コロナ後遺症窓口を市民への周知
- ・ 仙台市初のごみ屋敷件数調査と対策等

議会の動画は
こちらから！



～複数の子どもがいる世帯、多子世帯への大胆な支援を求める～

(一般質問) 東京都は令和元年度から、国の助成に上乗せする形で、第1子の年齢に関わらず第2子の保育料を半額助成し、第3子以降は無償化する独自事業を始めている。そして次年度から全額助成し、第2子の保育料を一律無料とすることを予算化している。東京都だけではなく、同じ政令市の福岡市、静岡市、同じ東北でも盛岡市がこの制度を新年度へ予算化しております。残念ながら本市は新年度に予算化をしていない。仮に予算化した場合の事業費や支給対象世帯、この制度を導入した場合、対象世帯は、どの程度負担軽減になるのかお示してください。

未就学時期における子どもにかかる出費もそうですが、こどもが成長するにつれて習い事、中学生になれば、部活動関係の出費が多いのに驚かされます。子ども一人でも負担が大きいところ、子育てしている家庭の中でも特に支援が必要なのは、子どもの数が多い多子世帯でございまして大胆な支援を早急に行うべきと考えます。どのように取り組んでいくのかを市長に伺います。

(答弁) 複数の子どもを育てるご家庭にとっては、経済的、身体的に様々なご負担もあると考えるところであり、寄り添った適切な支援が必要と認識している。これまでも、のびすくや子育て支援センターにおいて多子世帯への相談対応を行うとともに、多胎家庭への一時預かり、育児ヘルパー派遣等の利用料の軽減や、第三子以降への小学校入学祝金の給付など、様々な面から支援を進めてきたところであり、引き続き、多子世帯への支援に取り組んでまいりたい。

第2子保育料を無償化した場合

- ・ 適用世帯 約3,300世帯
- ・ 必要額 約8億1千万円
- ・ 負担軽減 約2万円/月・世帯

(一般質問) 昨年末に発生した所得税の納付遅れ等不適切な事務処理が相次ぎ、2月15日においても医療費の助成金についての不適切な事務処理が発覚している。こんなに続く不適切な事務処理の話は周辺自治体からも隣の宮城県庁、他の政令市からも聞こえてこない。残念なことに郡市長が就任してからこのような事案が増えていると感じている市民が多くなっている。いくら研修しても再発防止策を講じても、市長の態度を変えなければ職員の意識も変わらないのではないか。職員の意識を高めるために、様々な機会を捉えて職員に伝えていくとのことだが、全職員の意識を変えたいならそんな悠長なことを言っている暇はなく、今すぐにでも全施設、全フロアを訪問して職員に伝えるという意識の変化を市長ご自身に求めます。



(市長) 不適切事務処理により損なわれた信頼を回復していくためには改めて全庁的な事務執行の適正化を図ることが重要で、職員の公務に臨む意識改革を進める必要があるものと認識をしている。そのために年末年始の訓示において、一人一人が当事者意識をもって信頼回復に力を尽くしていかなければならないと職員に訴えかけたり、また局長会の場でも改めて徹底を図った。私自身、職員と対話する機会を増やし、私の考えを直接伝えることで意識改革に取り組んでまいります。

(再質問) 年末年始の訓示、局長会で職員に対し意識改革を訴えられているということだが、それでも2月15日に発生している。さらに意識を変えなければならぬのではないかと思っている。



(市長) 年末年始の訓示のなかで職員の意識を改革すること、重要な点を申し述べさせていただきました。それから、信頼回復なくして事業の遂行はないのだという意識を改めて持つこと、その必要性についても申し述べさせて頂いている。様々な機会をみて意識の徹底というのを図っていかなければならないというのを認識しておりまして、今後も職員と様々対話する機会を増やして参りたいと考えております。

(再々質問) 市民の方も大変不安がっております、このような取組みだと、また不適切な事務処理ミスが起こるのではないのかと思っている。そのような対応でミスを減らせるのかどうか、無くせるのか、お約束して頂きたい。

(市長) ミスを全て無くすというのは非常に難しい話だと思っている。最終的には人のやることですからミスがあってもおかしくないと思う。それをいかに早くリカバー出来るのかに尽きるのだと思っております、それぞれの職場でのコミュニケーションを徹底していくということについても言及させていただきました。「より良いように努力をする」というこの決意は受け止めて頂きたいと思っておりますし、職員それぞれ一人一人の意識にかかっているというふうに思っております。私も先頭にたって努めて参りたいと存じます。



【発覚している事務ミスの連発】 ◎道路照明灯の過払い ◎職員の障害者雇用率の算定誤り ◎心身障害者医療助成の支給誤り ◎保育施設等に対する賃借料加算の支給誤り ◎幼保連携型認定こども園の認可誤り ◎保育施設等に対する給付費の支給誤り ◎議会への提出文書や報告文書の記載誤り ◎医療費助成の二重支給誤り等